

街道の駅からの小さな旅

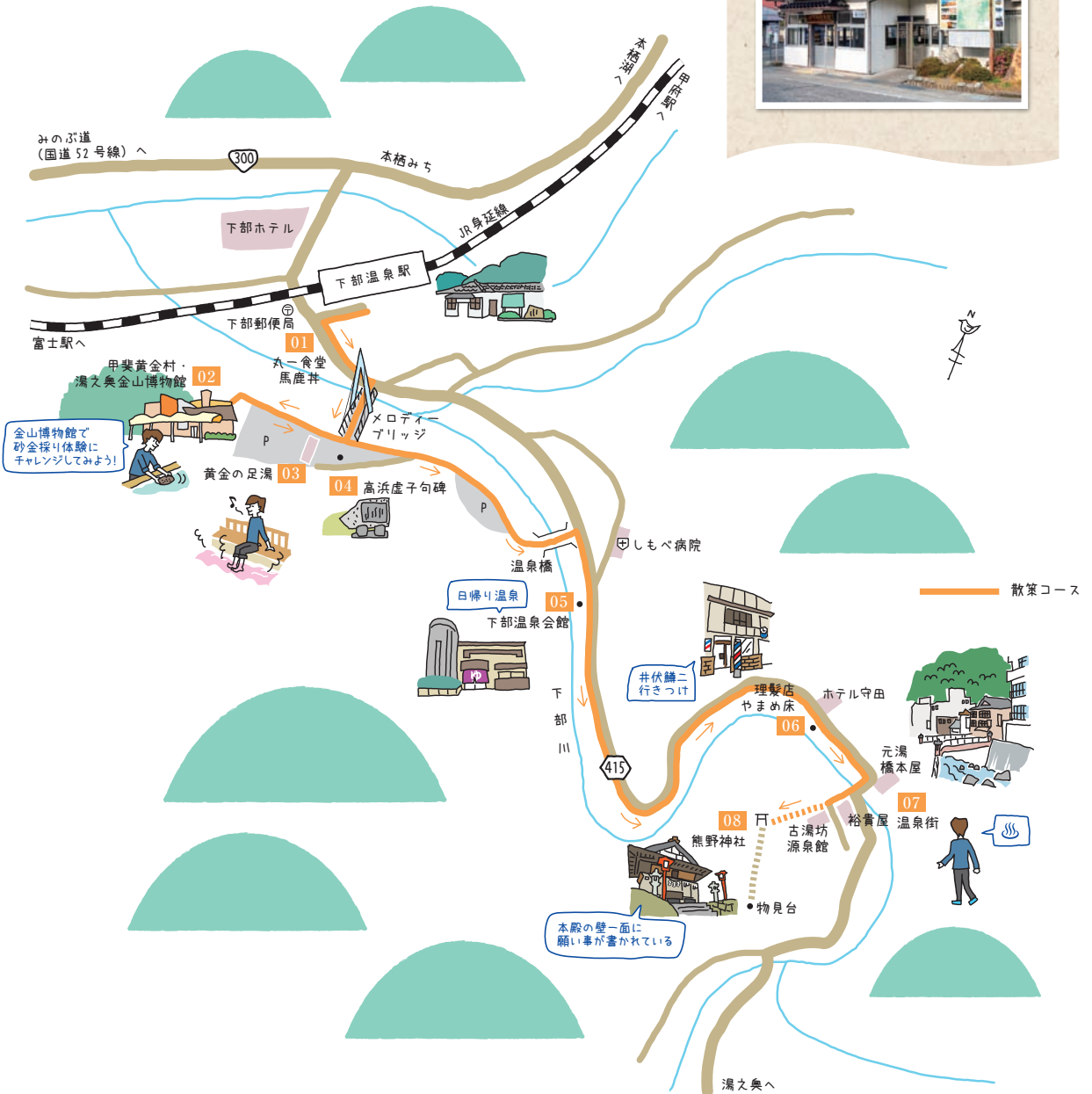
てくてくてくてくて

甲斐のくに

—第14駅—下部温泉駅



下部温泉郷は、下部川沿いにある古くからの温泉街。
周囲に連なる山々と清流が織りなす風景の中に溶け込む
古き良き湯治場の風情を味わいながら、
気の向くままに散策する心安らぐひととき。
文人たちの足跡や歴史文化に触れながら
下部温泉郷をてくてくと…。



06



理髪店 やまめ床

先代はヤマメ釣りの名人として知られ、文豪井伏鱒二の釣りの師匠でもあった。40年以上の付き合いがあり、井伏作品にも登場している。「やまめ床」の名前も井伏が付けた。

07



温泉街

下部川に沿った山間の道沿いに軒を連ねる宿や店。古くから続く温泉地らしい落ち着いた雰囲気を感じながら歩きたい。この地に暮らす人々の温かな人情にも触れられる。

08



熊野神社

承和3(836)年創建で、現社殿は天正2(1574)年ごろに穴山信君により再建されたと伝えられている。湯治に訪れた人々が回復を祈願したり、治癒の感謝をさげたりするために参詣している。



てくてく
歩きの
途中で…

老舗旅館のおかみさんに出会いました。「歴史が長い温泉地ですから、宿やお店も古くからやっていて、家族のような温かなつながりがあるんです。この地の人たちが醸し出す雰囲気の良いも下部温泉郷の魅力ですね。文豪らが滞在されたり、戦時中は疎開児童を受け入れたり、時代時代にさまざまな出来事がありました。訪れる人を心から大切にお迎えする気持ちは昔も今も同じです」と話してくれました。

01



馬鹿丼 (うまかどん)

地域の食の魅力をアピールする取り組み「身延とんがり街道」の一品として考案された丼。下部で古くから食べられている馬肉と、近年注目のジビエ、シカ肉は甘辛く炊かれている。駅近くの丸一食堂で食べられる。

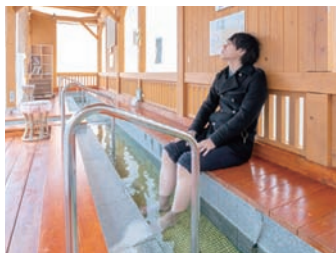
02



甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館

湯之奥金山遺跡からの出土資料や甲州金、各地の砂金を展示。映像シアターやジオラマなど、充実した内容で見応えがある。全国でも珍しい砂金採り体験もできる。

03



黄金の足湯

しもべ奥の湯高温源泉を引き込んだ足湯は源泉掛け流しで、加温や加水はしておらず、ほんのりとした硫黄の香りがする。無料で利用できるのだから、散策の後に立ち寄るのもオススメ。

04



高浜虚子の句碑

下部温泉郷は俳人たちにも愛され、句会など文化的なイベントも開催された。高浜虚子もこの地を訪れていて、その時に詠んだ句が刻まれている。

05



下部温泉会館

下部温泉郷唯一の公共温泉施設。浴室の窓からは下部川の渓谷美を眺められる。日帰り入浴ができ、気軽に温泉気分を味わえる。

てくてく
甲斐の国

下部温泉郷

いつの時代も人々は、このいで湯に心を寄せた





下部川沿いの緩やかな坂道に沿って、軒を連ねる温泉宿。懐かしさを感じる看板を掲げる商店も、湯の町らしい風情を今に残している。かつて文豪や文化人たちがこの地を訪れ、その湯で体を癒やし、四季折々の景観を愛でた。また、ある時は釣り糸を垂れ、自然の恵みに舌鼓を打った。約1300年の歴史を持つといわれている下部温泉郷。受け継がれる湯の町の歴史はこれからも続いていく。それは、湧きいづる湯のごとく、絶え間ない温もりとともに。